

# 保育のための音環境

## - 音から考える保育空間の質と環境整備指針 -

保育空間の音環境については、近隣との騒音の問題として最近は取り上げられることが多い一方で、子どもたちにとって望ましい音環境のあり方に関する議論は少なく、建築設計でも遮音や吸音といった音の配慮がなされることもまた少ないのが現状です。しかしこれは保育空間の音環境設計が不必要なことを意味せず、たとえばWHO（世界保健機構）のガイドラインをはじめ、欧米には発達段階にある子どもにとって望ましい音環境の実現のために、法令レベルの設計基準が現存します。

本シンポジウムは、音の面から建築が保育空間にどう貢献できるのかについて、保育の現場に関わる方々と議論を共有することを目指しています。音にはふだなじみのない方々もぜひご参加いただき、現場のニーズや工夫したい点などについて、一緒に検討できればと考えております。プログラムでは、子どものための音環境ワーキンググループのメンバーを中心とした建築側からの話題提供ののち、保育・行政の討論者も加わった総合討論を予定しております。

日時：2015年7月28日（火）13:00～17:00  
会場：建築会館ホール（東京都港区芝5-26-20）

### <プログラム>

1. シンポジウム趣旨説明 船場ひさお（フェリス女学院大学）
2. 保育の現場から考える保育空間とその音環境 佐藤将之（早稲田大学）
3. 保育空間の音環境の現状、現存する海外の設計基準 川井敬二（熊本大学）
4. 望まれる音環境：設計指針として考慮すべき要因は何か？ 上野佳奈子（明治大学）
5. 建築からの改善手法・事例紹介 土屋裕造（戸田建設）・富田 隆太（日本大学）
6. 総合討論 コーディネーター：川井敬二

指定討論者：柿沼平太郎（全国認定こども園協会事務局長・認定こども園こどもむら）  
渋谷昭子（横浜市こども青少年局）

司会／進行：武岡紗生（明治大学）

参加費：会員 1,500 円、後援団体会員2,000 円、会員外2,500 円、学生1,000 円  
（資料代含む、当日会場でお支払いください）

定員：150 名（申し込み先着順）

申込方法：Web 申込み <https://www.aij.or.jp/index/?se=sho&id=1124> よりお申し込みください

問合せ：日本建築学会事務局 事業グループ 一ノ瀬

TEL 03-3456-2051 E-mail : [ichinose@aij.or.jp](mailto:ichinose@aij.or.jp)

主催：日本建築学会 室内音響小委員会（担当：子どものための音環境ワーキンググループ）  
後援：こども環境学会、日本音響学会、日本騒音制御工学会、日本福祉のまちづくり学会